

住信為替ニュース

THE SUMITOMO TRUST & BANKING CO., LTD FX NEWS

第2103号 2012年02月27日 (月曜日)

《 What will next ? 》

先週指摘した「striking distances」の幾つかは既に firmly に超えてきました。ドル・円は今朝の段階では81円台の前半にあり、「また円高に戻るのではないか」との予想がある中でも、円安への足取りはしっかりしていたと言える。一番円安ぶりが目立ったのは対ユーロで、今朝のユーロ・円は109円台の半ばと110円に接近している。先週からは5円近くも円安が進んでいる。

円安センチメントの強さは、通貨先物市場における円の買越額を見ても明らかである。日本経済新聞のネットの記事によると、シカゴ・マーカントイル取引所（CME）が先週公表した通貨先物取引動向（非商業部門）では、先週の21日時点での円の買越額は2157億円に過ぎなかった。これは昨年7月5日以来の低水準であり、前月末に比べて約5000億円減少している。つまり急速に「円高予想」が萎んできて、参加者がポジションを動かしているということだ。

これは海外勢が円の先安観強めている証拠であり、今は貿易収支だけだが「日本の“経常収支”が将来赤字に転落する」との思惑を背景にしていると言える。実際に、日本の対外収支構造は原発停止（54基中52基が停止）による液化天然ガスの輸入急増で全体の輸入額が大きく膨らむ形で変わってきた。

加えて、米国経済の雇用を中心とした改善傾向がドルの対円での反発に繋がっている。また、日銀が国債の買い入れ増額などの追加緩和に踏み切ったことで、日米金利差がさらに拡大するとの思惑もある。円はその他の通貨、例えばオーストラリア・ドルなど政治的な混乱が背景にある通貨などに対しても下落している。これは他国の要因よりも「円そのものが弱くなりつつある過程」であるとも判断できる。

株価は依然として世界的に上昇基調を続けている。ニューヨークのダウ平均は先週一回ザラ場で1300ドルに乗せた後も大きくは崩れずに高い水準を維持している。先週末の引値は、1300ドルにあと一步といった水準である。「しっかり」ということでは、世界の株価も同様である。日本の株価は徐々に1000円の水準に接近している。

今の世界的な株価高のその先に待ち受ける懸念材料としては、原油価格の高騰だろう。先週は110ドルに接近する値動きを示した。原油価格の高騰に関しては、メキシコ市で開かれたG20の席でも「急騰する原油価格が、欧州の財政危機で基盤を弱くしている世界経済の

回復の足を引っ張る危険性」を指摘する声が出たという。

世界の原油価格の上昇は、世界で取引される原油のかなりの部分を通るホルムズ海峡を封鎖するとイランが脅しをかけていて、核開発を巡る姿勢でも欧米に対して譲歩の姿勢を示さないこと、シリアを巡る情勢も不安定で、アサド大統領を交代させても「その後を誰に任せるか」について誰もアイデアがなく、中東でも非常に敏感なこの地域での安定が当面は確保できそうもないこと、などが背景。アメリカ経済の回復などもあり、世界的に原油需要が増えてきているということもありそうだ。

《 move quickly 》

メキシコ市で開かれていた G20 は、EU がギリシャに対して取ったのとほぼ同じスタンスをとって閉幕した。つまり「もっと自分達で何とかするように」と努力を促しながら、「そうなった場合には支援する」というスタンスである。具体的に G20 は「まず欧州が自前の安全網を拡充する」よう求め、それが実施されれば G20 が 4 月の次回会合に向け「国際通貨基金（IMF）の融資枠の拡大を検討する」ことで一致した。これは、EU がギリシャに対して要求した仕方によく似ている。

各国のスタンスもこの趣旨に沿ったものだ。日本の安住淳財務相は会議で「欧州の安全網はさらに強化すべきだ。欧州自身の一段の努力の結果を踏まえ、IMF の資金基盤の強化や我が国の貢献を具体的に検討したい」と主張したと伝えられる。恐らくアメリカが欧州に求めたのは、「敏速な行動」だろう。欧州はもともと「欧州諸国の危機対応が遅い」と苛立っていた。自らが起こしたリーマン・ショックの経験もあるのだろう。

欧州サイドが今後 G20 などの国際社会に示していかなければならない課題に関しては、今朝のウォール・ストリート・ジャーナルに以下の記事がある。

「They acknowledged a long list of potential obstacles ahead. Greece must meet numerous conditions for its latest bailout within weeks. European leaders must overcome German reluctance to quickly raise the capacity of a euro-zone financial firewall—a rescue fund large enough to reassure markets that other troubled euro-zone economies will be able to manage their debts.」

ギリシャが諸条件を満足させることに加えて、「欧州諸国によるドイツ説得」が入っていることが注目される。

今週の主な予定は以下の通り。

- | | |
|--------|-------------------|
| 02月27日 | 台湾（休場、28日も） |
| 02月28日 | 1月の米耐久財受注 |
| | 12月の米ケースシラー住宅価格指数 |

0 2月 29日	<p>2月リッチモンド連銀製造業景況指数</p> <p>2月のCB消費者信頼感指数</p> <p>デュークFRB理事が上院銀行委員会で証言</p> <p>2月のドイツの失業率</p> <p>米10～12月GDP(改定値)</p> <p>2月シカゴPMI</p> <p>バーナンキFRB議長が金融政策に関して下院 金融委員会で証言</p> <p>米バージェブック</p>
0 3月 01日	<p>韓国(休場、独立記念日)</p> <p>2月の米ICSCチェーンストア売上高</p> <p>欧州首脳会議(～2日)</p> <p>2月の欧州各国PMI製造業</p> <p>ユーロ圏の1月の失業率、2月の消費者物価</p> <p>米の新規失業保険申請件数</p> <p>2月の米ISM製造業景気指数</p> <p>1月の米建設支出</p> <p>バーナンキFRB議長が金融政策について 上院銀行委員会で証言</p>
0 3月 02日	<p>2月の米自動車販売台数</p> <p>ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁が講演</p>

《 have a nice week 》

週末はいかがでしたか。コンピューターのデスクトップには指定した都市の天気を報じるガジェットがあって、それがまた北海道の旭川になっているので夜になると「マイナス17度」とかを示していますが、東京・大阪は非常に温かくなってきました。風は冷たいが日差しは温かい。大阪の大阪城の近くにある梅林もかなり早咲きのものがピンクや白の花を咲かせている。

ところでこの週末は、家電量販店で何本かのアダプターやケーブルを買って、スマホに撮った映像(動画を含む)を楽しんでいました。買ったのは

1. iphone とテレビをHDMI ケーブル経由で接続するためのコネクタ
2. 富士通のスマホ(arrows) とテレビを直接接続するためのライン
3. MacBook の air のデスクトップをプロジェクター経由でスクリーンに映し出すためのVGAアダプター

このうち、上の二つは実際にやって成功しました。iphone コネクターは、HDMI ケーブルの一方をテレビの HDMI 端子の一つ（普通二つある）に繋ぎ、一方を買ってきたアダプターの HDMI サイド(もう一つある)に入れ、普段は充電に使っている iphone のポートに差し込む。私が旭山動物園で撮った「ペンギンさんのお散歩」を iphone から出してテレビに映してみました。これが実に綺麗です。音もテレビから。ナイス。

次に arrows の動画をテレビに出してみようと思った。これはケーブルの一方がテレビの端子に直接刺さるようになっているのでそうして、一方を arrows の充電ポートの横になる HDMI ポートに入れた。最初テレビに映像が出なかったが、これはスマホサイドの設定が「HDMI を ON にする」になっていなかったのが原因。一つ思ったのは、私が iphone など撮影した動画は今はフェイスブックの動画として結構皆さんに見てもらっているのですが、iphone の動画をそのまま PC のデスクトップで再生できれば、それをそのままプロジェクターに流せる..... と考えたのです。

しかしこれは結構難しそう。iphone サイドが「PC と接続しました」というメッセージを出さない。テレビの時には出る。でもこれが出来たら、フェイスブックの圧縮した動画ではなく、生の動画がプロジェクター経由で出せる。ナイスでしょう。もっともこれをネットのサイトに書き込んだら、いろいろな人が「こうやれば出来る」「iphone の映像を直接プロジェクターに映すアダプターもあります」などいろいろな反応を頂いた。今度それらを試そうと思う。

それでは皆さんには良い一週間をお過ごしください。

《当「ニュース」は住信基礎研究所首席研究員の伊藤(E-mail ycaster@gol.com)の相場見解を記したものであり、住友信託銀行の見通しとは必ずしも一致しません。本ニュースのデータは各種の情報源から入手したものです。正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》